



最近の出来事から、今後どうなるのかと思いを巡らしていることを二点お知らせします。

一点目は、一般家庭でも電気の契約先を自由に選べる電力小売りの「完全自由化」が本年4月から始まりました。経緯をみますと、北海道電力をはじめとする全国の電力会社10社が、戦後60年以上にわたって地域に電力を供給してきましたが、平成12年からは大規模工場向けが自由化され、その後、対象が徐々に拡大し、一般家庭にも広がってきました。全国では約160社、道内でも9社の電気を売る会社が立ち上がり、灯油代、ガス代、電話代など様々な他の商品との組み合わせによって、電気料金が安くなるような取り組みが始まっているようですが、本当に安くなっているのか？また、地域によっては上手く競争が働かないところもあるようです。今は焦ることなく、制度全体が

町長室から こんにちは

新得町長 浜田正利

落ち着くまで様子を見た方がよいのではと思っていますが、皆さんは如何ですか？

二点目は、JR北海道の列車の減便、駅の廃止等が実施されました。JR北海道の鉄道事業は100円の収入のために154円をかけています。結果、年間約400億円の赤字で、路線別にみても全路線が赤字です。身近な新得駅と富良野駅の区間が、100円の収入のために1430円をかけています。最も悪いのは路線が廃止される留萌駅と増毛駅の間が4554円と公表されています。経営改善のために駅の無人化、廃止、減便、減車が進められ、路線によっては廃止が進められようとしています。今後の動きを注視していくとともに、身近な路線の存続のためにも、沢山のお客さんが利用していただくよう皆さんの協力をお願いします。

話は変わりますが、先日、「町長、今年の冬は雪が少なかったと思うけど、どうなの？」と、声をかけられました。3月末で比較してみました。積雪（雪の現在の深さ）0cm（平年16cm）、11月以降の降り始めからの降雪量（雪の降った量）は327cm（平年577cm）で平年の約60%でした。昨年より少なかったですが、更に少なくなっています。雪解けとともに、ゴミを含めいろんな物があちこちに見えてきました。道路の破損箇所修理、ゴミ拾いなど、冬の後始末は4月の大型連休前までには終わらせる予定です。皆さんにおかれましても環境整備にご協力をお願いします。

第15回 しんとく新そば祭り 併催 第22回 日本そば博覧会 in 十勝新得町

平成28年9月19日(日)～9月25日(日)
新得町保健福祉センター「なごみ」前駐車場 他

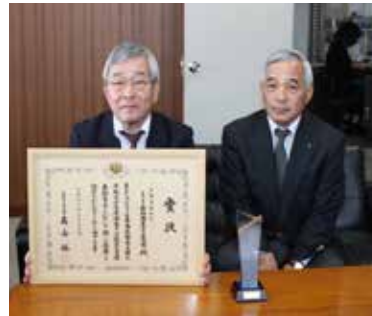


新得物産サホロ農園 が農林水産大臣賞受賞



9月19日から25日までの7日間の日程で開催される「日本そば博覧会in十勝新得町」。

そば博開催に先立ち、とても嬉しいニュースが飛び込んできました。3月23日に行われた日本蕎麦協会の平成27年度全国そば優良生産者表彰で、新得物産サホロ農園（清水輝男社長）が最高賞の農林水産大臣賞を受賞されました。同表彰は、消費者へ良質なそばを安定的に提供するため、低コスト・品質向上などの面で模範となる生産農家や生産集団を表彰しているもので、今回で27回目。本町では平成元年度に屈足の羽場由明さん、平成11年度に新得町畑作振興会豆類・そば部会、平成17年度に屈足の村田博さんが農林水産大臣賞を受賞されていて、今回で4度



新得物産の清水社長（左）とJA新得町の太田組合長

目の受賞となります。

受賞された清水社長は「受賞できて感無量。これほどの素晴らしい賞をもらってプレッシャーがかかるが、これからも新しい技術を取り入れていき、品質、収量ともにアップしていきたい。この受賞が町の活性化にもつながれば」と喜びながらも、更なる上を目指す意気込みも語っていました。また、JA新得町の太田眞弘組合長は「日本全国の多くの生産者の中から選ばれたのは、土づくりや畑の基盤整備などをしっかりやってきたから。そばの乾燥施設が完成し、生産量を増やしたいところでの今回の受賞は、弾みがつくのでは」と話していました。

名実ともに日本一のそば処を目指す新得町。今回の受賞を弾みにして、日本そば博覧会を町民みなさんの手で成功させたいですね。

短歌

新得短歌会

われの名を彫りて印形くれし娘は
絵手紙でもと気遣いうれし
高橋 幸子

垣間見る日頃の姿勢生き態の
吟声に出づ出場人ら
小関 白潮

冬の月なぜに秘かれる凍る夜は
受けとめくれる人に似てくる
中井由利子

如月のほの香にほひかほり聴く
花卉優しく啓箱桜
荒木 風月

来し方の登り下りて峠あり
想ひしたたかふり返る風
奇藤美代子

二十余年続きしエッセー年老いて
なごり偲ばせ十勝川湯に
小野 洋子

ひかり降る慶事重なる良き季節に
孫は行くらし遠くのまちへ
菊地 康雄

脱穀の雛の如くに歩み出し
鳳と成る日を希う
樋口かおり

俳句

新得俳句同好会

新雪の急ぎ足なり勤め人
片桐 波月

言い訳を捜しあぐねて懐手
高橋 民女

春場所や夫と二人の至福かな
八木 育子

三月や軍の話しに聞かす
月井 悠峰

討談に色を合わせて春の雪
大崎かずお

風光る峡谷多き白糠路
袴田ゆき男

日高嶺の西日眩しき雪解道
奇藤 青苔

少年の淡き口髭大試験
中島 土方

郷土の歴史を
新得町郷土研究会が
ご紹介いたします
一緒に
歴史の散歩に
出掛けましょう

しんとく
歴史歩
No. 7

「日本八景狩勝峠」

ぶ議論の末、海岸には室戸岬、湖沼は十和田湖、山岳は温泉岳（雲仙岳）、河川は木曽川、渓谷は上高地渓谷、瀑布は華厳の滝、温泉は別府温泉、平原には狩勝峠を決定しました。このほか「二十五勝」や「百景」など、数多くの風景地、名所、観光地が選ばれました。

平原の部では大分県の日田盆地が70万票余りでトップでしたが、選定委員会での審議の結果、約14万票で5位の狩勝峠が選ばれました。名称は投票募集のときは「日本新八景」となっていました。決定のときは「新」が取れて「日本八景」に変わっています。

十勝での運動は帯広商工会が中心となり進められました。特に坂井辰吉副会頭の努力に負うところが大きかったといわれます。

この「日本新八景」の選定は、近代の日本における観光の始まりとなったといわれています。



日本八景「狩勝峠」の展覧（昭和5年）